

## 中札内村総合行政推進委員会 第2回委員会 会議録

日 時 令和6年3月27日(水) 19:00~19:50  
場 所 中札内村農村環境改善センター 2階大集会室  
出席委員 桑田尚行、杉本啓子、嶋崎直子、神山大知、林 雄司、鳥倉華以、鎌田 修、  
日比野 正、林 理央、佐久間 正、杉本伸子、齊藤雅美(12名)  
欠席委員 奥井千英子、丹野 優、佐藤裕二、下埜智加、及川 準(5名)  
事務局 総務課長 中道真也、総務課長補佐 下浦強、総務課主査 竹村幸二、  
総務課主事 山口晴樹

### 議 事

(開 会) 19:00

(中道課長) それでは、ご案内の時間になりましたので、会議を開催させていただきます。  
本日は年度末の大変お忙しい中、総合行政推進委員会に出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は、報告事項が3件ございます。午後8時30分までには終了したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、桑田会長からご挨拶をお願いいたします。

(桑田会長) こんにちは。本日は、年度末のお忙しい時間に、このようにお集まりいただきありがとうございます。

皆様から貴重なご意見がありましたら、その都度手を挙げていただきながら、円滑に進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

(中道課長) それではこれより議事に入っていきますが、以降の進行については、会長をお願いします。

(桑田会長) それでは、議事に入らせていただきます。

最初に、報告事項の① 中札内村地球温暖化対策実行計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

(山口主事) ~別紙資料に基づき説明~

(桑田会長) 事務局から説明がありました。ご意見・ご質問があればお願いします。

(委 員) ~意見等なし~

(桑田会長) 次に、報告事項の② 第2期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間

実績について、事務局から説明をお願いします。

(下浦補佐) 本計画の期間は令和2年度から令和6年度の5年間となっており、重要業績評価指標（KPI）が設定されています。中間年度の令和4年度の状況を整理したものがこの表です。

進捗状況の欄ですが、○が目標達成、△が基準値より伸びているが目標値に達していない、×は基準値を下回っている、横線が増減なし又は毎年実績値が算出されないもの、となっています。

ほとんどの項目で○か△となっておりますが、「年間観光入込客数」だけは、コロナ禍があった影響により、未達成となっています。

2枚目は、総合戦略に掲げた事業のうち、国の地方創生推進交付金を受けた事業です。主な事業としては、令和元年度から3年間は、「七色献立プロジェクト事業」で交付を受けております。

3枚目をご覧ください。令和4年度からは、交付金の名称がデジタル田園都市国家構想交付金に変わりました。令和5年度は、「まちなかにぎわいの拠点施設整備事業（キッチンスタジオ建設事業）」で1億5千万円程、「申請書作成支援システム導入事業（書かない窓口導入）」で174万円程の交付を受けております。

(桑田会長) 事務局から説明がありました。ご意見・ご質問があればお願いします。

(委 員) ~意見等なし~

(桑田会長) 次に、報告事項の③ 今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

(下浦補佐) ~資料2、資料3に基づき説明~

(桑田会長) ただ今事務局から説明がありました。このことでも構いませんし、全体を通してでも構いませんので、皆さんからご意見等はありませんか。

(委 員) 総合行政推進委員会で事実が共有されたわけですが、私たちに具体的にどういう役割が期待されているのかということも、もう一度確認させてください。質問や提案をするにしても、どこからどこまでの範囲で質問や提案をすれば良いのでしょうか。事実を知った中で価値のある議論をするにしても、何が課題になっているかなど、ポイントを絞って提示してもらえると、この場をもっと活かせるのではと思います。

(下浦補佐) ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思います。今回はたくさん資料を事前に送付しており、確かに具体的な話に膨らんでいきにくいと思いますので、来年度会議を進めるにあたっては、ポイントを絞りながらご意見を頂

くなど、工夫したいと思います。

(委員) やたらと「デジタル」という言葉が出てくるのですが、何を期待しているのでしょうか。

(中道課長) 元々地方創生ということで、東京一極集中を是正したいというのが当初の目的でした。国はまち・ひと・しごと創生総合戦略を定めて進めてきたのですが、それがなかなか進まないということで、デジタル田園都市国家構想総合戦略に代わり、デジタル技術を使って地方でも便利に暮らせるようにしようという流れです。

(委員) デジタルだけではないだろうと思います。アナログの部分も多いと思います。まちなかの移動がデジタル化できるかという話はよく聞きますが、アナログの部分も残さないと、デジタルには移行できないと思います。もう少し目先のことを整理してから、それからデジタルに移行したほうが良いと思います。

(桑田会長) 国から様々な予算が付くということは皆さんご存じですね。国から交付金の内容が示され、それに合わせて村が進めたい事業に活用するという考え方が一つあります。まずは予算を取ってこないと動けないということもありますので、そのことも考えていただけたらと思います。

(下浦補佐) 国はデジタル技術を使って、マイナンバーカードの利活用もそうですが、全国どこでも便利に暮らせるようにしたいと考えており、どうしても「デジタル」という言葉が象徴的に使われていますが、おっしゃるとおり、アナログの部分はなくせない部分だと思います。

(委員) まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和2年度から令和6年度までとなっているため、来年度で終了します。年間の観光客の入込客数が残念ながら目標に達しなかったということですが、来年度で達成する見込みはあるのでしょうか。

また、基本目標2で「美しい村で暮らす人を応援」とあり、私は移住促進協議会のメンバーですが、とても良いメンバーで一生懸命に活動しています。令和6年度はどのようなことが期待されているのか、もしわかれば教えていただけますか。

(下浦補佐) 観光入込客数は、この計画の策定が新型コロナの流行前ということもあり、100万人という目標を掲げましたが、途中でコロナ禍により大きく落ち込んでしまいました。そういった情勢の変化もあり、達成できるかは不透明となっています。

また、移住促進協議会につきましては、令和5年度は首都圏でPRするなど盛んに活動していただいていますし、令和6年度は移住体験住宅を3棟を増やして受け入れ態勢を強化します。最終年度には達成になるのではと思います。

(委員) 令和元年度から3年度までの地方創生推進交付金を活用した事業として、ヘルスケアビジネス創出事業があり、令和3年度に医療費抑制効果分析とあります。実際にこの取組に参加して個人の普段の生活がどのように変わったとか、参加した人の感想などをまとめて、医療費と生活がこう変わったということを、合わせてアピールすると良いのではないのでしょうか。

(下浦補佐) 活動量計を付けて歩く習慣は、村内で確実に広まっていると思います。これによって医療費がどれだけ抑制されたか、数値としては出しにくいところですが、歩くことが習慣になり健康に暮らしている方は、間違いなく増えていると考えており、本日は細かい効果分析の資料までは手元に持ってきていませんが、確実に効果があった事業だと考えております。

(中道課長) 健診の受診率の向上も目標に掲げて取り組んでいますので、健康意識を高める目標を持って、分析しながら進めています。

(委員) 基本目標1では、教育の充実満足度、基本目標3では子育て環境満足度がパーセントで設定されていますが、これはどのように設定した目標でしょうか。

(下浦補佐) まちづくり計画の策定にあっては、村民アンケートを行っています。村内500世帯を対象にアンケートを送付し、その中で回答を得た満足度調査の結果がこの数値となっています。毎年度行っているわけではありませんが、令和6年度と令和7年度の2か年をかけて後期基本計画を策定するにあたり、村民アンケートを行いますので、そこで出た数値との比較ができると思います。

(委員) 第7期まちづくり計画における基本構想とは、組織で言う「ビジョン」に当たるのでしょうか。解釈の違いだけなのかもしれませんが、一定の期間で成し遂げたいことであるならば、少し抽象的な気がします。より具体的にすることによって、もっとフォーカスして皆さんが理解し、村としての方向性を合わせていけるのではと思います。

(委員) まちがあまり綺麗ではないと思います。歩道が波打っています。にぎわいづくりの以前に、細かい部分に目が行き届いていない印象を与えていると思います。まちづくりを長期で考えるのであれば、道路なども傷んでいますので、補修していくべきだと思います。

(中道課長) 国道の歩道のことをおっしゃっていると思います。道路管理者である帯広建設管理部に対し、経年劣化で老朽化が進んでいるということで、村からも補修の要望を上げています。ブロック舗装は高額で一度に補修ができないため、アスファルト舗装で修繕するよう要望を上げているところです。引き続き要請していきたいと思います。

- (委 員) 役場の周辺はきれいだと思います。村として重要な部分、例えば役場、診療所、保健センター、道の駅、学校などもきれいだと思います。せっかく「点」がきれいになったのですから、全部はできないでしょうが、利用度の高い場所を「線」でつなぐように修繕したら良いと思います。
- (中道課長) 道道の雑草については、北海道に対し要望していますが、なかなか予算が付きにくいということで、美しい村の取組として村で行っている部分もあります。一度には出来ませんが、努力はしています。
- (委 員) 先ほど皆さんが上げてくださった意見は、美しい村づくりの KPI の中に反映されているのでしょうか。
- (下浦補佐) KPI の設定は、基本目標ごとに事務局で一定程度選定しています。ご意見の全てを載せることはできませんが、参考にはさせてもらっていますし、村民アンケートを行う中で設定したいと考えています。
- (中道課長) あくまで目標の進捗管理をしていかなければならないことから、ある程度数値で算出しやすい目標としておりますが、工夫の余地はあると思います。
- (委 員) まちづくり計画の長期的な考え方についてですが、村長が代わって方針が変わるということはよくありますが、まちづくりの根幹は、トップが代わっても変わってはいけないと思います。その部分は、住民が想いを強くする必要があります。
- (下浦補佐) まちづくり計画の8年間の基本構想は変わりません。基本構想の下に、基本計画が前期4年、後期4年で分かれておりますので、令和7年度の改選期において、村長公約を後期基本計画に反映させることにしています。
- (委 員) 住民の意見を反映していかないと、まちづくりがブレてしまうと思います。
- (中道課長) 第5期までは総合計画と言って、10年間の計画としていました。第6期計画からは、村長の任期と合わせる形で、8年間のまちづくり計画としています。政策の「色」は首長によって変わることはありますが、まちづくりの根幹は変わるものではありません。
- (桑田会長) 私は第6期計画の策定からこの総合行政推進委員を担っていますが、まちづくりのベースは変わるものではありませんのでご安心ください。他にありますか。
- (委 員) 質問が無ければ本日の会議は終わるのでしょうか。さらに議題はあるでしょうか。他の方の意見も聴いてみたいと思いました。

(中道課長) 本日は個別具体の審議ではなく、報告という形の会議とさせていただきました。来年度、まちづくり計画後期基本計画や総合戦略の策定、政策評価の各分野の検証においてご意見を頂きながら進めたいと思います。

(桑田会長) その他に何かありませんか。

(委 員) 地球温暖化対策実行計画についてです。鹿追町では、バイオマスや水素ステーションを整備しています。上士幌町でもバイオマス施設の整備等を進めています。中札内村で計画しているものはあるのでしょうか。

(中道課長) 具体的に計画しているものはありません。管内的に見ても、まずは地球温暖化対策実行計画を先に作って、それから個別の事業を考えていくという自治体もあれば、バイオガスや水素ステーションなどの事業を掲げて進めている自治体もあります。

本村としては、これまで太陽光発電設置の助成なども行ってきましたし、来年度は村で電気自動車の導入などを考えていますが、これから事業者や住民の皆様との対話の中から、村が進めるべき施策を検討して、予算付けをしていこうと考えています。また、協議会をしっかりと場にするのか、ワークショップのように幅広くご意見を頂くのか、その仕組み作りは考えていきます。いずれにせよ、行政だけの計画にならないよう進めていきます。

(桑田会長) 本日の議事はこれで終わります。最後に、その他ということで事務局からありますか。

(下浦補佐) 総合行政推進委員は2年ごとの任期となっており、現委員の任期は令和6年6月1日までとなっています。新年度に入りましたら委員を公募します。

先ほどご説明したとおり、新年度は村の各種計画の改訂作業等を控えております。皆様にはあらためてご意向を確認させていただきますが、事務局としては引き続き皆様に担っていただきたいと考えておりますので、その際はご理解とご協力をお願いします。

(桑田会長) そのほか、委員の皆さんから何かあればお願いします。  
無ければ以上をもちまして、本日の総合行政推進委員会を閉会いたします。  
長時間にわたり、大変お疲れ様でした。

(閉 会) 19:50